

古処山～屏山～馬見山 ～嘉徳アルプスと小石原焼窯元めぐり～

【報告者】みっちー

【日時】2018年5月27日（日） 【天候】晴れ

【参加者】みっちー、会員外（1）

《コースタイム》

6:12 西鉄薬院駅=7:34 甘木鉄道甘木駅 7:47（甘木観光バス）=8:07 野鳥バス停 8:10～8:20 登山口～
9:36 古処山～10:14 屏山～10:45 宇土浦越～11:25 馬見山（避難小屋で休憩）11:55～13:24 小石原民芸
村跡～13:54 道の駅小石原（小石原窯元めぐり 2時間）15:45 小石原バス停=16:34 杷木バス停 17:12=
高速=18:24 博多駅

《 報 告 》

最近焼き物にハマっていて、GWは九重帰りに小鹿田焼に行った。次は小石原焼に行きたいと思い縦走を思い立った。移動手段を調べると、行きの甘木観光バス（甘木～野鳥）は本数が多いが、帰りの小石原～杷木間のバスは2時間に1本。縦走する方はよく調べて計画することをお勧めします。

8:10 野鳥バス停を出発。集落に沿った舗装道路を歩く。今日は集落全体の草刈り日だったようで、すれ違う住民の方から次々に挨拶をうける。10分程で登山口に到着。大きな看板と駐車場があり分かり易い。ここから沢沿いの登山道を上る。8:57 古処林道終点地、ここにも大きな看板と駐車場があり、ここで二人の登山者を追い抜く。途中、昨日の雨の影響で沢水が溢れている場所もあったが、石畳や木道が整備されて歩き易く全く問題なかった。九合目辺りで赤い前掛けをした石仏に遭遇。会釈をして通りすぎ、樹林帯を登る。しばらく行くと視界が開けて、9:36 古処山山頂（860m）に到着した。山頂は見晴らしが良く、小休止をとり写真撮影を楽しむ。

先もあるので屏山へ向かうが、山頂からしばらくして道を間違い、藪漕ぎして縦走路に戻った。岩を降りるとき間違ったようだ。古処山から馬見山への縦走路は嘉徳アルプスと呼ばれているが、スタートの秋月から嘉麻峠までの登山道は九州自然遊歩道となっている。道標や木道が整備されているうえに、縦走路はアップダウンが少なく、気持ち良い稜線歩きが楽しめた。あつと言う間に屏山（927m）に到着。この山頂も開けており、ベンチで若い男女がお弁当を食べていた。天気も良く時間も早いので、馬見山を目指し、道を下る。

この後は馬見山側から来る登山者とすれ違うことが増えた。道が良いのでつつい駆け足になってしまいがトレランに良さそうな道だ。10:45 宇土浦越に下りてきた所で、休憩している中年男性に話かけられる。男性によれば、嘉徳アルプスは2016年度日本山岳遺産に認定されたとのこと、その際補助金を使い、馬見山に避難小屋をオープンしたので是非利用してほしいと、登山マップが掲載されたリーフレットを頂いた。（避難小屋設立に関わった関係者の方らしい）また、私達が来た秋月側ではなく、「遊人の杜キャンプ場」も良いので、次回はキャンプ場で宿泊して登ることもお勧めされた。小屋開設時の苦労話やお勧め登山道など、面白い話しは尽きなかったが、お礼を伝えて馬見山を目指す。

馬見山までの上りがこのルートで地味にきついかもしれない。11:25 馬見山頂に到着。写真だけ撮って隣接する避難小屋に移動。5月オープンしたばかりの小屋は、写真のとおりとても美観で、清潔感があった。窓には立派な網戸がついているので、窓を開けて中で昼食をとった。10人ぐらいが座れる大きなテーブルや長椅子、また休むスペースも確保されている。水場とトイレは無いが、天候が悪い時や冬場など心強い存在となるだろう。縦走される方は是非立ち寄って見て下さい。小屋でゆっくり休憩し12

時前に出発。ここからは、高低差の少ない縦走路を嘉麻峠方面へもくもく歩く。予定より少し早い13:24小石原民芸村跡の登山口に出た。更に、町の中心部「道の駅小石原」に向けて舗装道路を歩き30分後に到着。約6時間弱、16.2kmの楽しい縦走コースだった。

この後、今日のメインイベント「小石原焼窯元めぐり」を約2時間、お目当ての白い大皿や小皿をゲット、帰りのバスで祝杯を上げながら帰福した。天気にも恵まれ小旅行気分も満喫でき良い山行だった。



今年5月にオープンした避難小屋
馬見山の山頂徒歩1分

